

大潜隊機密第一三號ノ二

昭和四年七月十一日佐世保

伊號英五十五潜水艦長 鍋島俊策

海軍大臣殿

伊號英五十五潜水艦觸衝事件報告

一 衝突ノ時刻 七月十日前十時三十分三秒

場所 大立島燈台ノ二五度ニ。程

相手艦名 軍艦衣笠

同艦長名 海軍大佐 北川清

二 衝突前後ニ於テ風向風力 南東力一乃至二

天候海上ノ模様 天候平穩海上和長満リ

潮流ノ方向速力 不明

其他四圍ノ状況 視界8/10

海軍

海軍

三. 我艦ノ發程地等

英二潜水艦隊英一戰艦發射ニ參加潛航對敵行動中

四. 觸衝前後ノ狀況及施シタル處置

別紙英一及附圖英一

五. 損傷ノ程度

前部浮力水缶上部ニ見取圖ノ如キ損傷ヲ生シタルモ其他船体人員等ニ異狀ヲ修理ノ爲入渠ヲ要セス
別紙附圖英二

(終)

海軍

別紙 英一

觸衝ノ状況及施シタル處置

伊號英五十五潜水艦ハ昭和四年七月十一日午前九時五分
 英十八潜水艦ノ一番艦トテ所定ノ既備地英大立島ノ二
 六度一六・七度ニ於テ潜航ス針路二一。度速力三乃至四節
 午前九時五十一分英二艦隊ノ尖艦列タル英五戰隊ノ一艦
 ヲ方位二二二度ニ認メ尔後射敵行動開始午前十時八分
 十五秒英四戰隊ヲ認メ其前程ニ進出セントス
 午前十時十二分二十秒露項(秒時三十秒)衣笠ヲ方位一九五度
 距離離 五^{五〇}六^{六〇}米ニ認ム本艦針路一七。度速力四節
 午前十時十五秒^分四十五秒露項(秒時約四十秒)衣笠ヲ方位
 一八三度距離約二〇〇米(目測)ニ於テ恰々約三度ニ定針セ
 ントスルヲ認ム當時目標隊ノ之字運動ハA法若ハB法ニ

海軍

斗時隔ハ正規ノモノト判断セシヲ以テ此係直進スルモ何等
 不安ナシト認メシモ萬一ヲ慮リ更ニ左方ニ十度変針針路
 一六〇度トシテ深度五〇呎今十時十七分三十秒頃水中聴音
 ニ依リ二三〇度方向ニスクリープヲ聴ク昔ノ報告ヲ受ク當時
 ニ二三〇度方向ニ艦船ヲキマテ確實ニシテ其及方位五〇度
 附近ニ比較的距離ニ五戰隊ノ一艦アルト確實ナル
 ヲ以テ及方位五〇度ハ大体ニ於テ正シキモノト思惟シ前記ノ
 衣笠ハ已ニ約五十度ノ方向ニアルモノト判断ス
 午前十時十人分五十秒露頂(秒時約一分弱)衣笠ノ右舷
 側ヲ右舷艦首四十度附近距離約五〇米(目測)ニ他ノ一
 艦ヲ左舷側約三〇〇米ニ認メタルヲ以テ衣笠トノ關係ハ全く
 不安ノ域ヲ脱セルモノト判断シ被發見ヲ顧慮シテ潜望
 鏡ヲ降下ス當時敵主力ハ概シテ七〇〇米附近ニヤリ漸

海軍

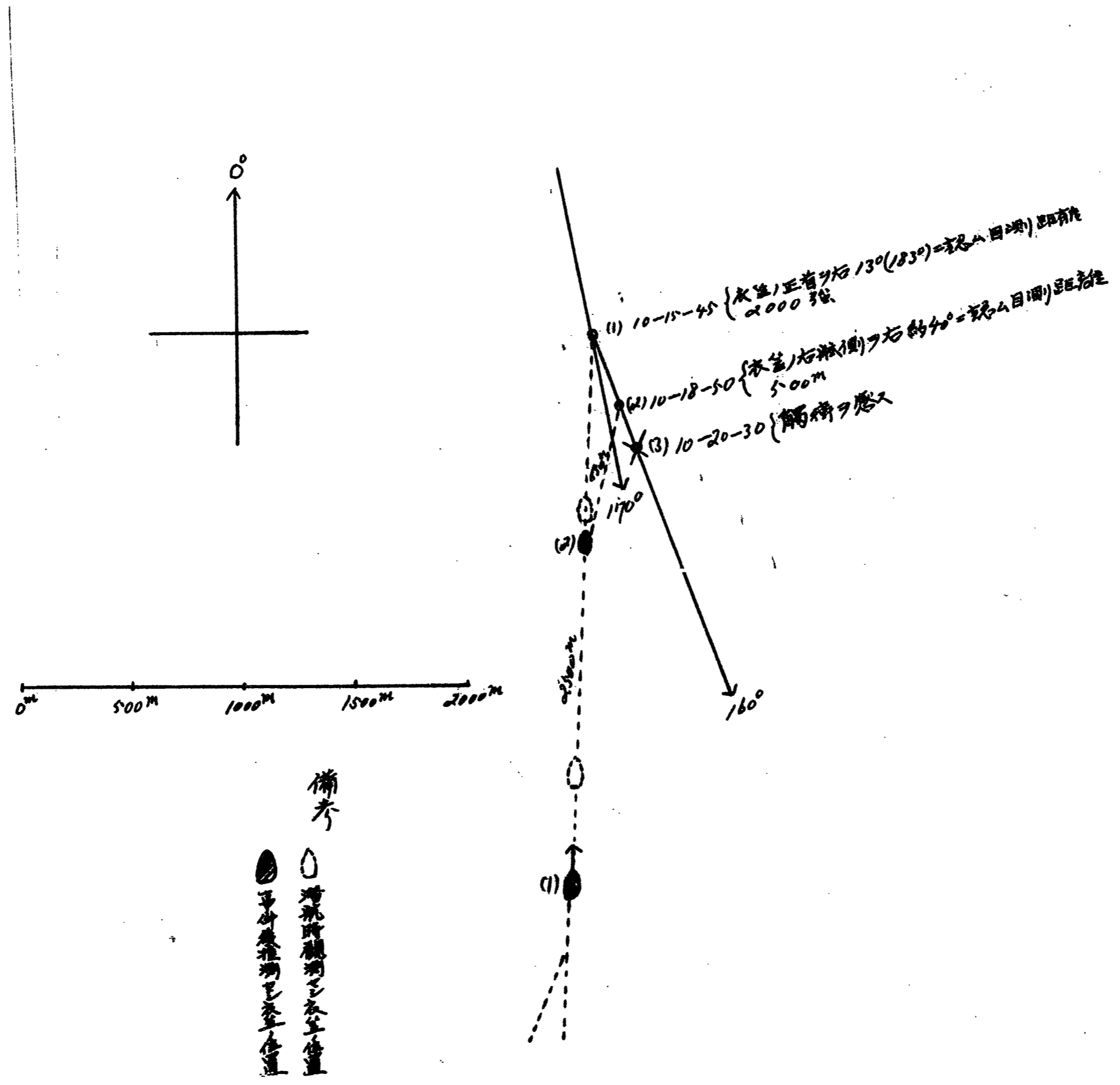
次西方ニ移動スル情勢力ニアルヲ以テ此際深々度トスルハ
機射矣ト得運動ニ困難ヲ生スルヲ以テ深度ハ露頭露

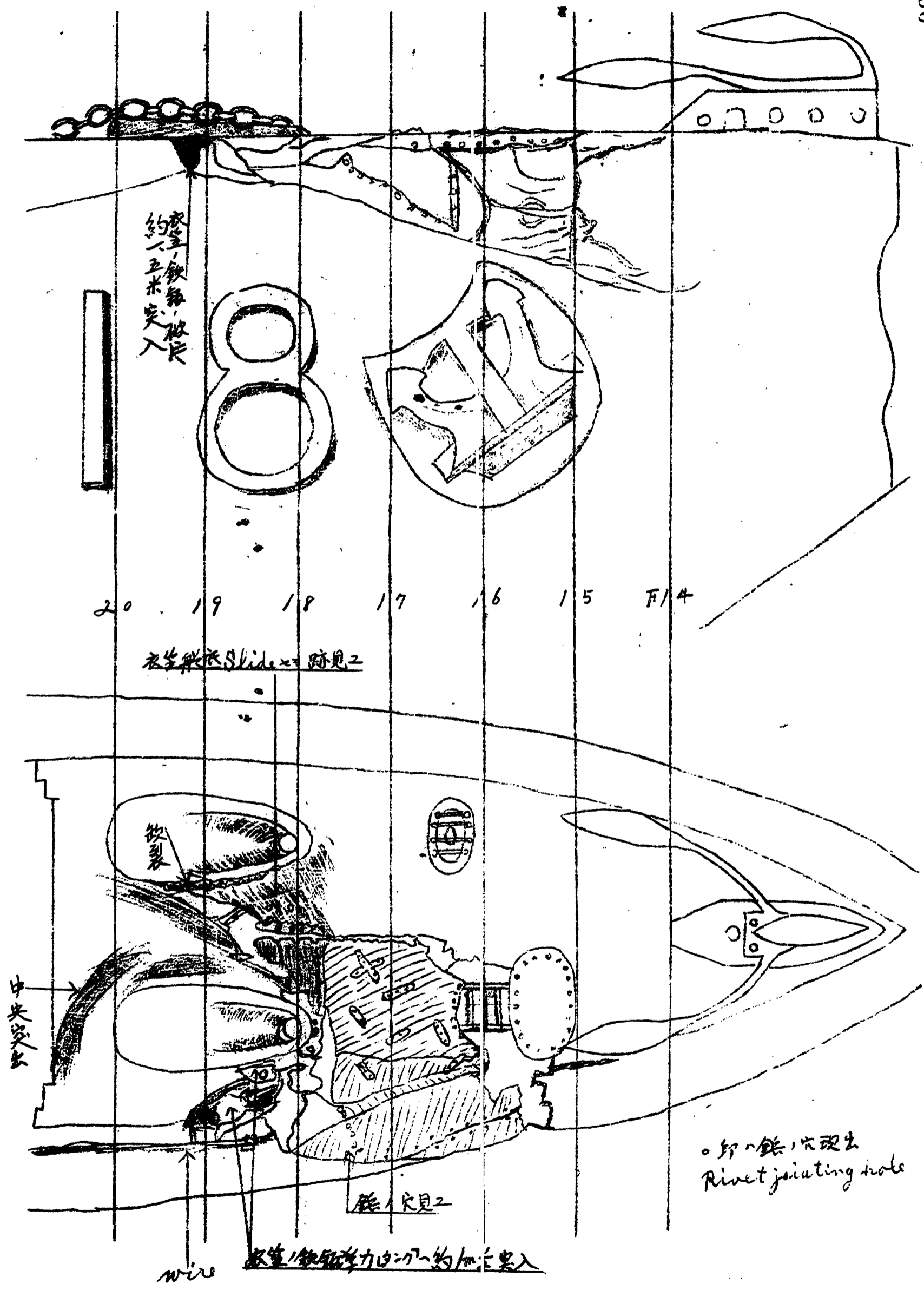
易ナル四十五吹トス

午前十時十分三十秒突如船体ニ衝動ヲ感シ何物カニ
衝撃セラルタルヲ直覺ス依而主水缶排水ヲ令スルト
共一旦機械ヲ停止シ代艦ト衝着ノ懸念去ルマ前進
強運ヲ令シ急運浮上入漏水何所絶無ニシテ潜航ニ
何等不安ナキヲ確信セシテ四圍ノ状況ヲ顧慮シ遂ニ
發射ヲ断念セリ

浮上ノ途申着望鏡ニテ觸衝相手艦ハ衣笠ナルヲ知
ル浮上後損所ハ前部海水ニテ損交真約五十度ナルト
及損傷程度ハ別圖見取圖ノ通ナルヲ發見セリ

(終)





約一五米突入

20 19 18 17 16 15 F/4

跡見 Slide

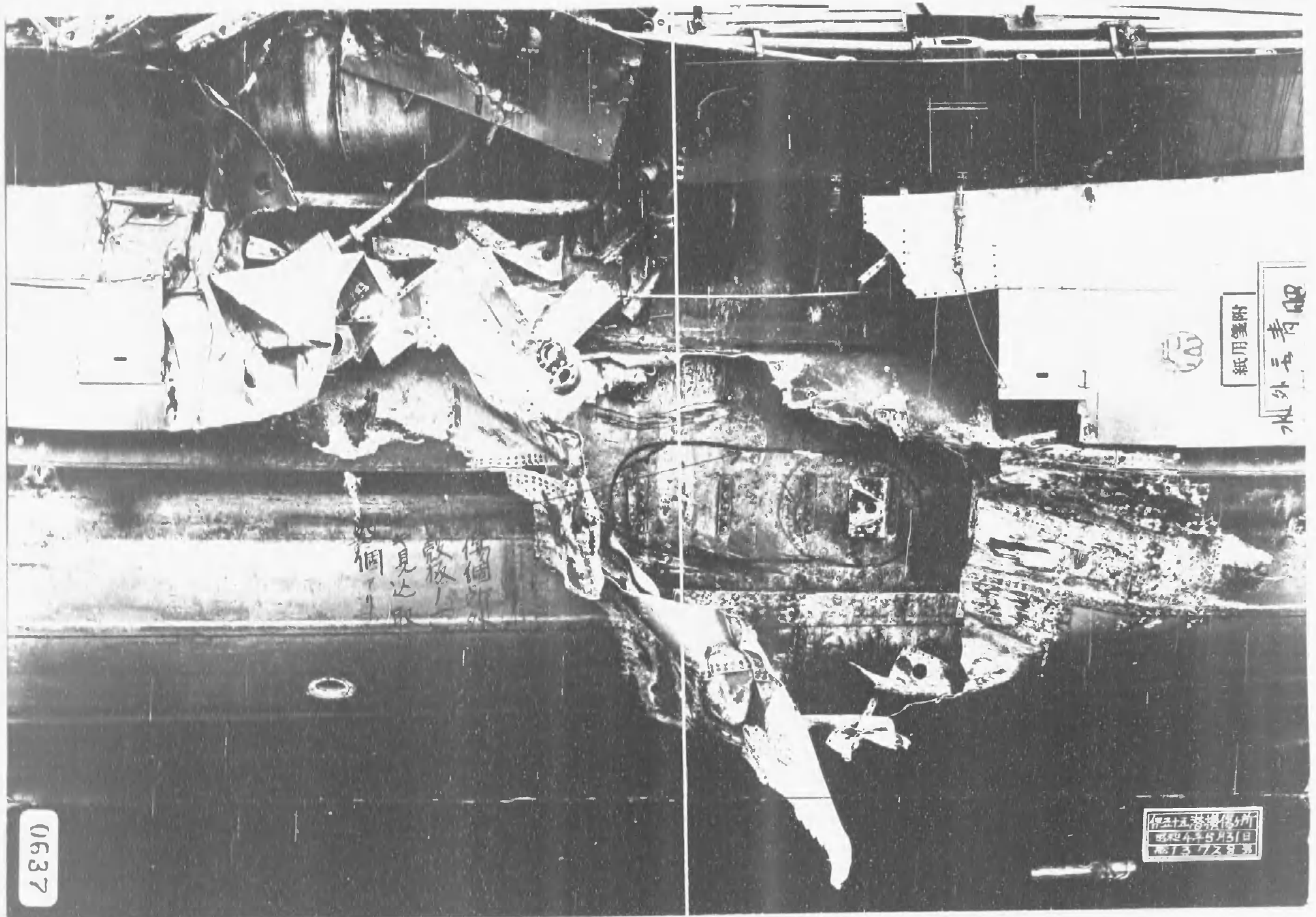
鐵裂

中央突出

鐵釘

wire 鐵釘加白 約加突入

Rivet jointing hole

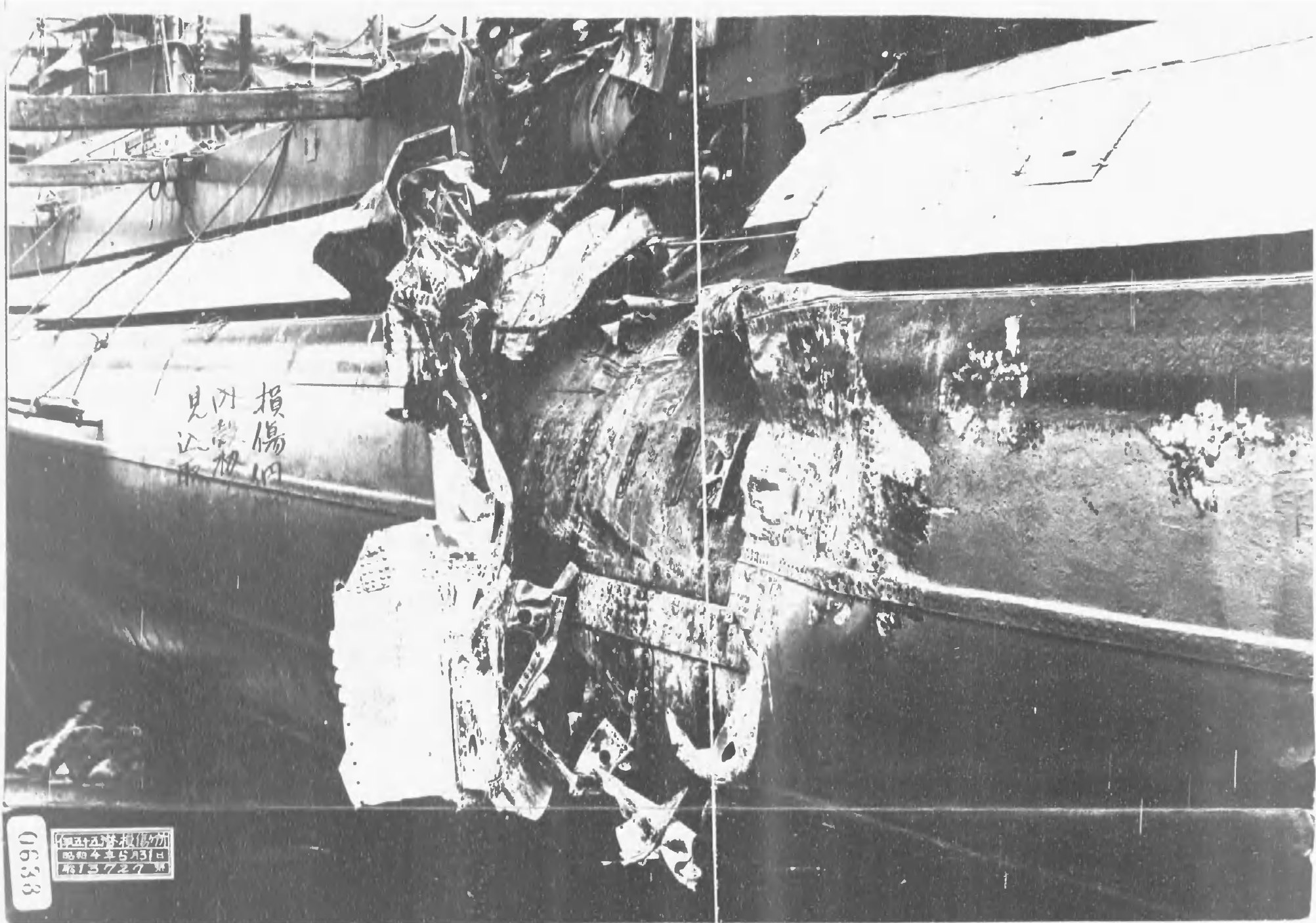


0637

傷個
敷板
見込
個

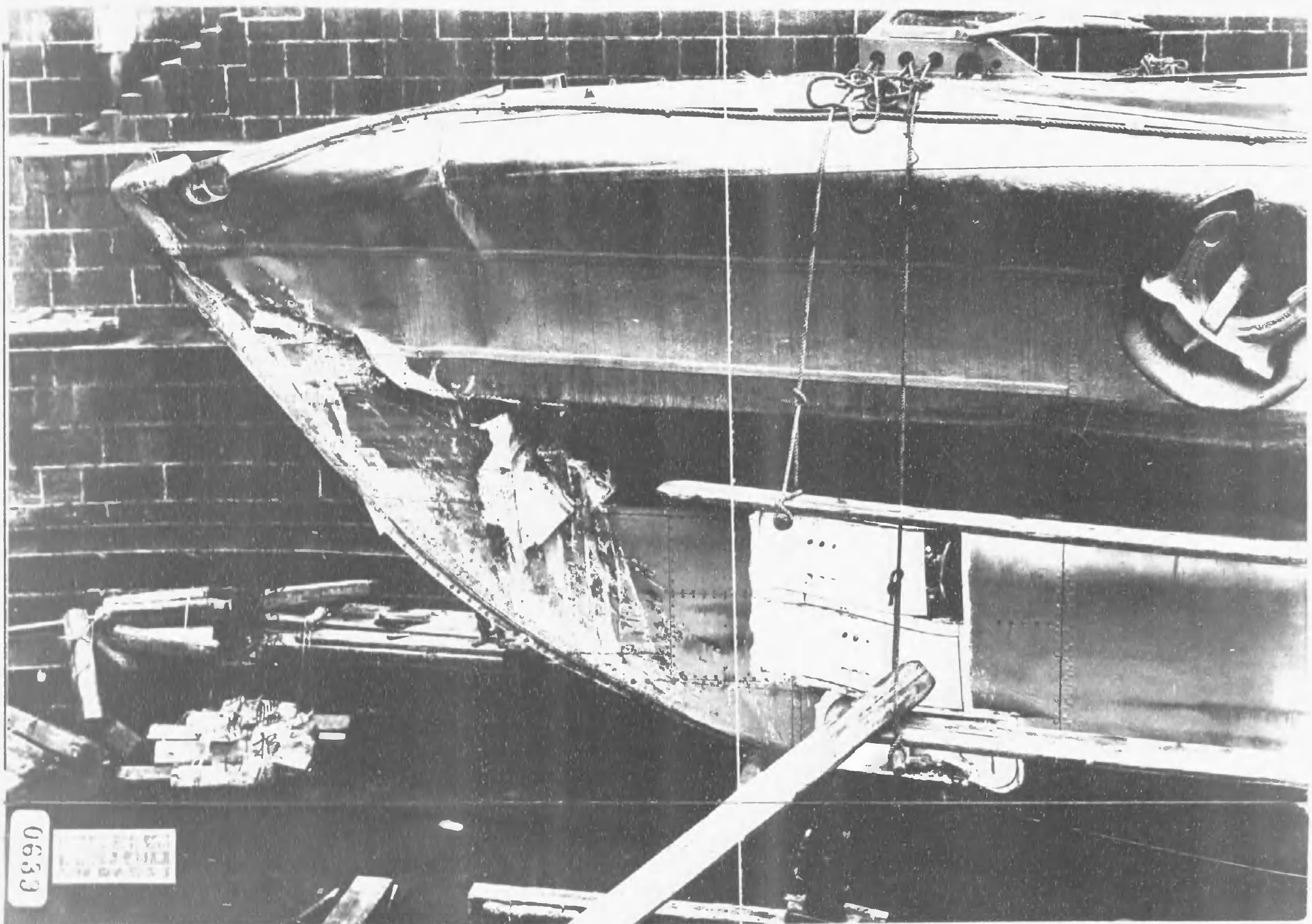
紙用箋附
水外五島丸

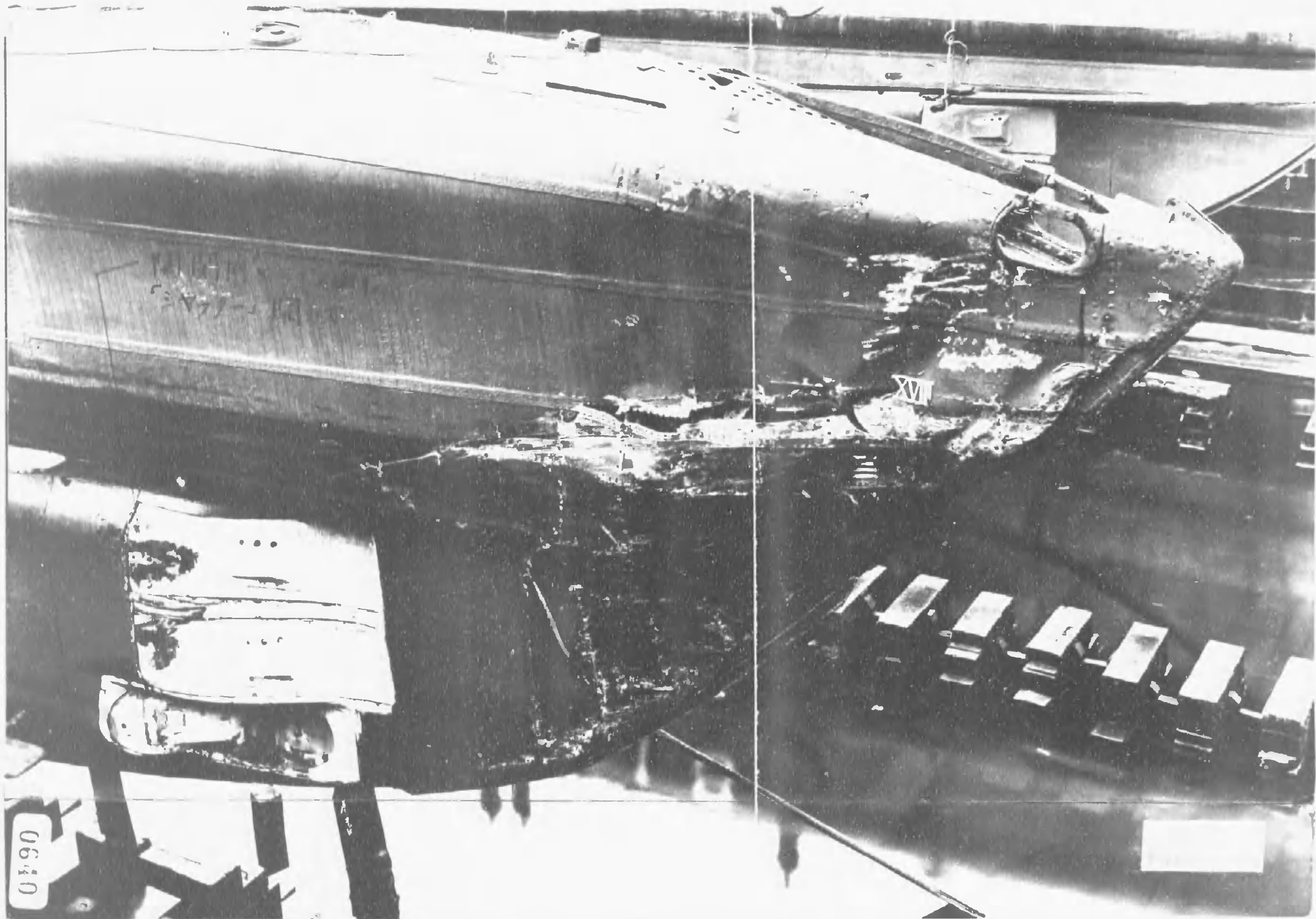
伊豆五島海難救助所
昭和4年5月3日
船名 伊豆五島丸



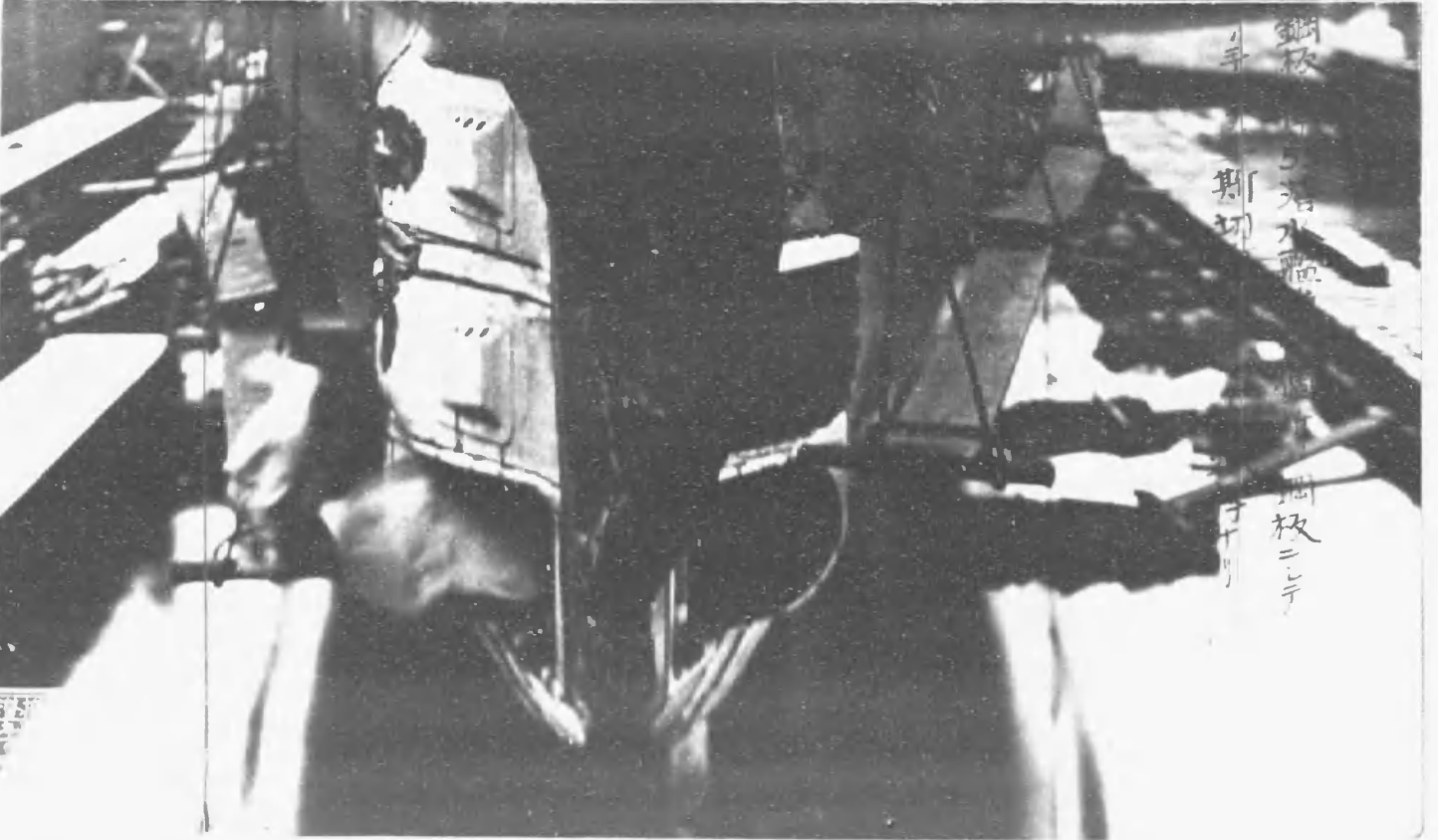
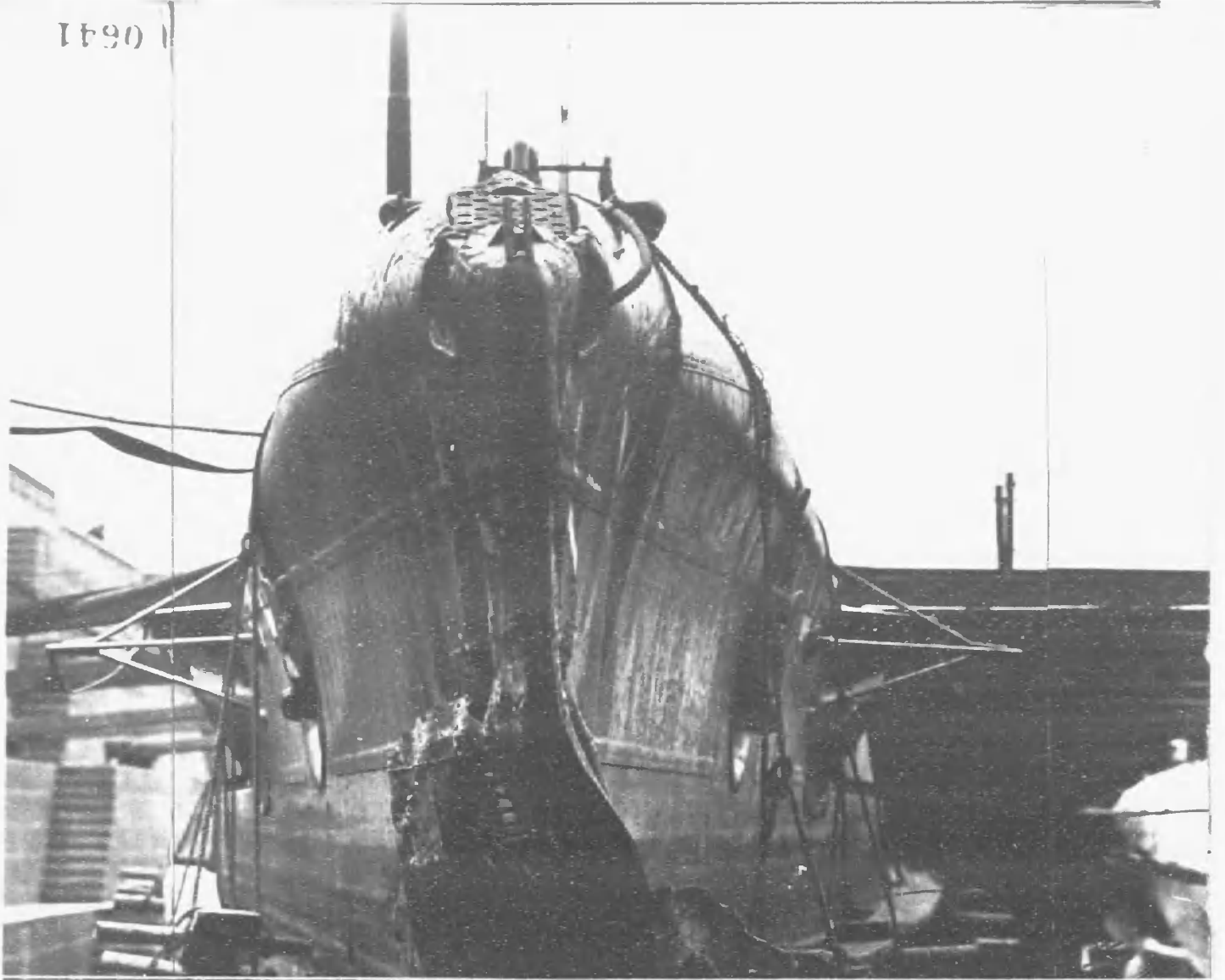
損傷
見込
込

0633
伊豆海軍工廠
昭和4年5月31日
4815727





1490 1



鐵板
 船
 水
 船
 鐵板
 ニ
 テ

0642

供

監

経	7/13	※	20	永
係			終	

大潜隊機密第二五號

ノ三

昭和四年七月二十日迄五保

第十八潜水隊司令

海軍

殿

第一課 伊五九潜水隊機密事件関係件提言

伊五九潜水隊機密事件関係件提言

同第三部 第五部

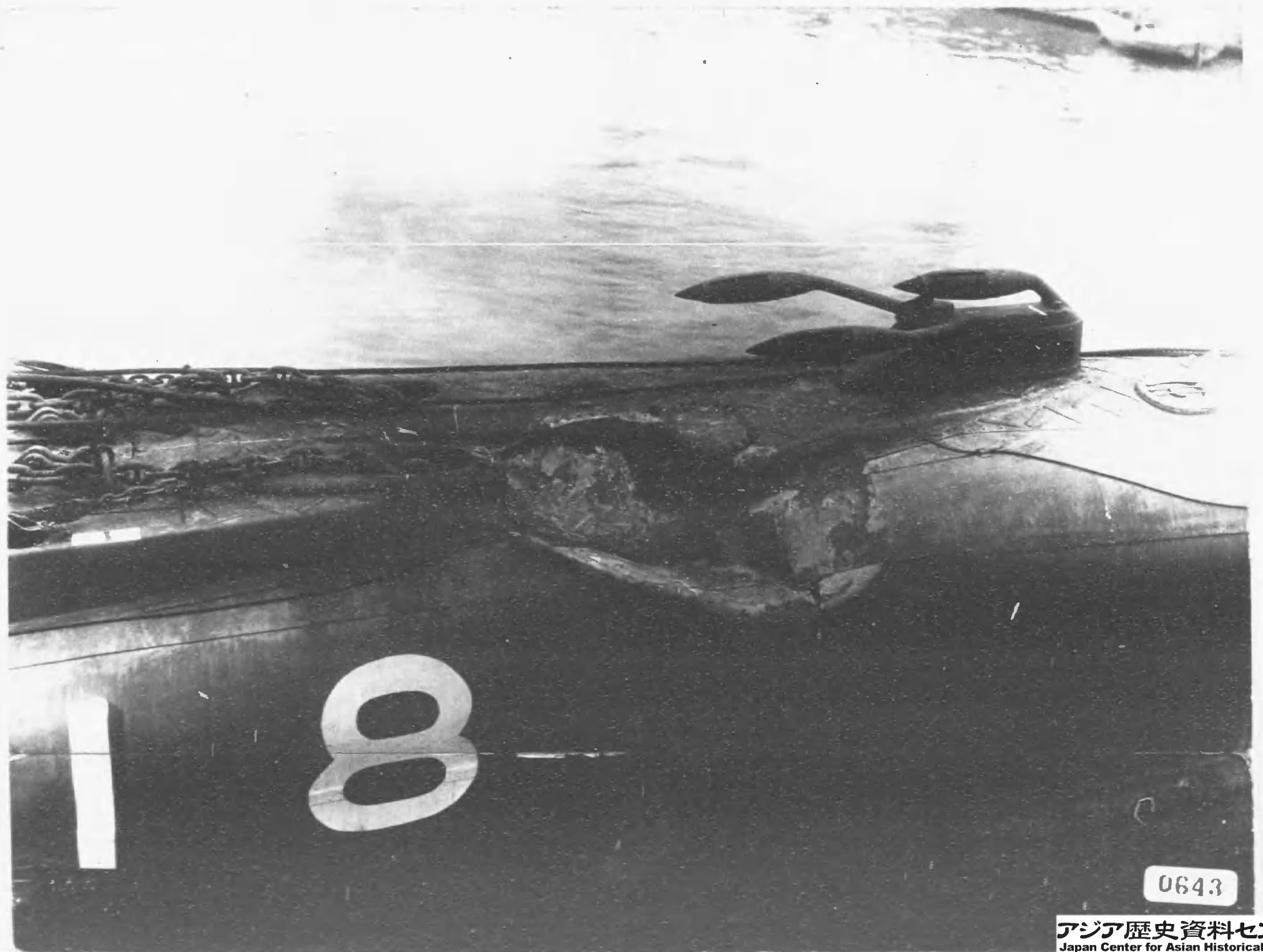
大野技師

右寫真一紙

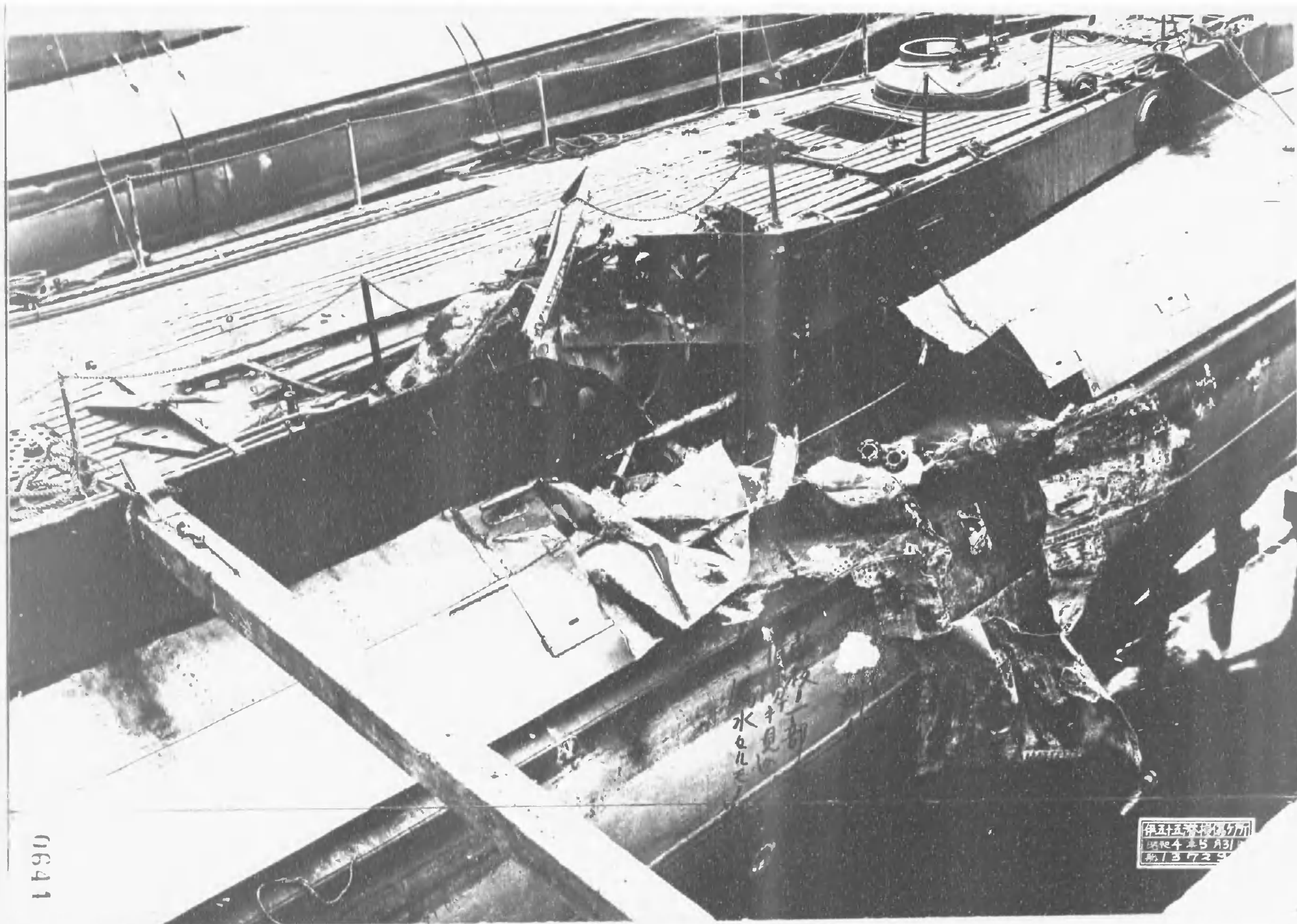
特別機密



軍務



0643




0641

伊五五五
水見部

伊五五五
昭和4年5月31日
第1372号

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="660 412 979 766"><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6
1	2						
3	4						
5	6						
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>13 年 1 月 24 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 三 浦 悟</p> 							

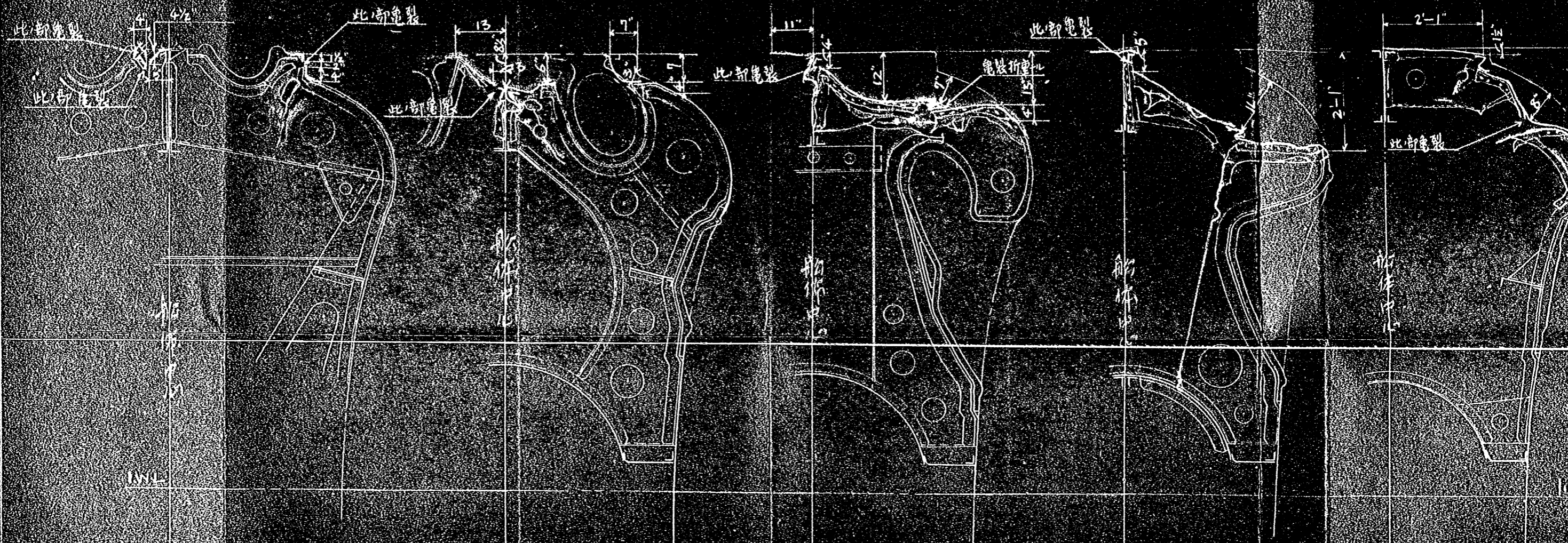
肋棧19後面

肋棧18後面

肋棧17後面

肋棧16後面

肋棧15後面



外板側面

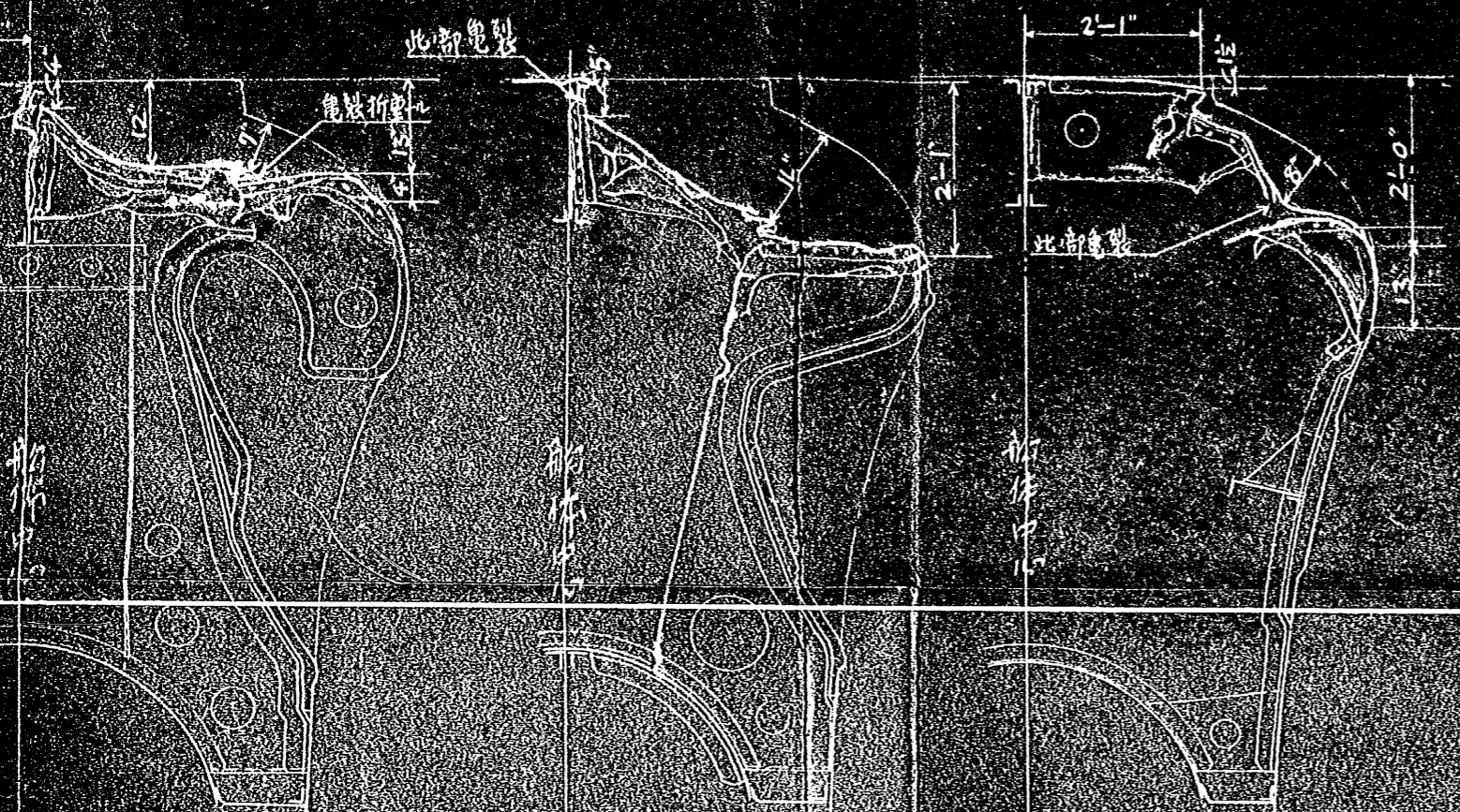
0645

「カッター」取付部亀裂

脚棧17後面

脚棧16後面

脚棧15後面

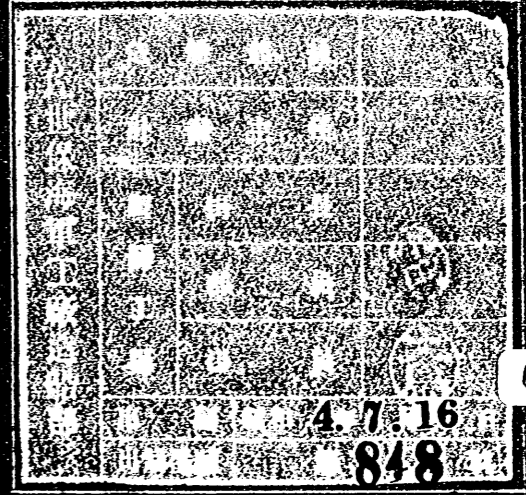


一、昭和四年七月十日午前十時二十分大立島燈台のり二揮
 軍艦衣笠と接觸損傷セルヲ示ス
 一、昭和四年七月二十日於繫船地第二岸壁見取

尺度 貳分一吋スケール

右舷ホースパイプ附近
 損傷見取番

伊號第五潛艦



0645

0646

外板側面

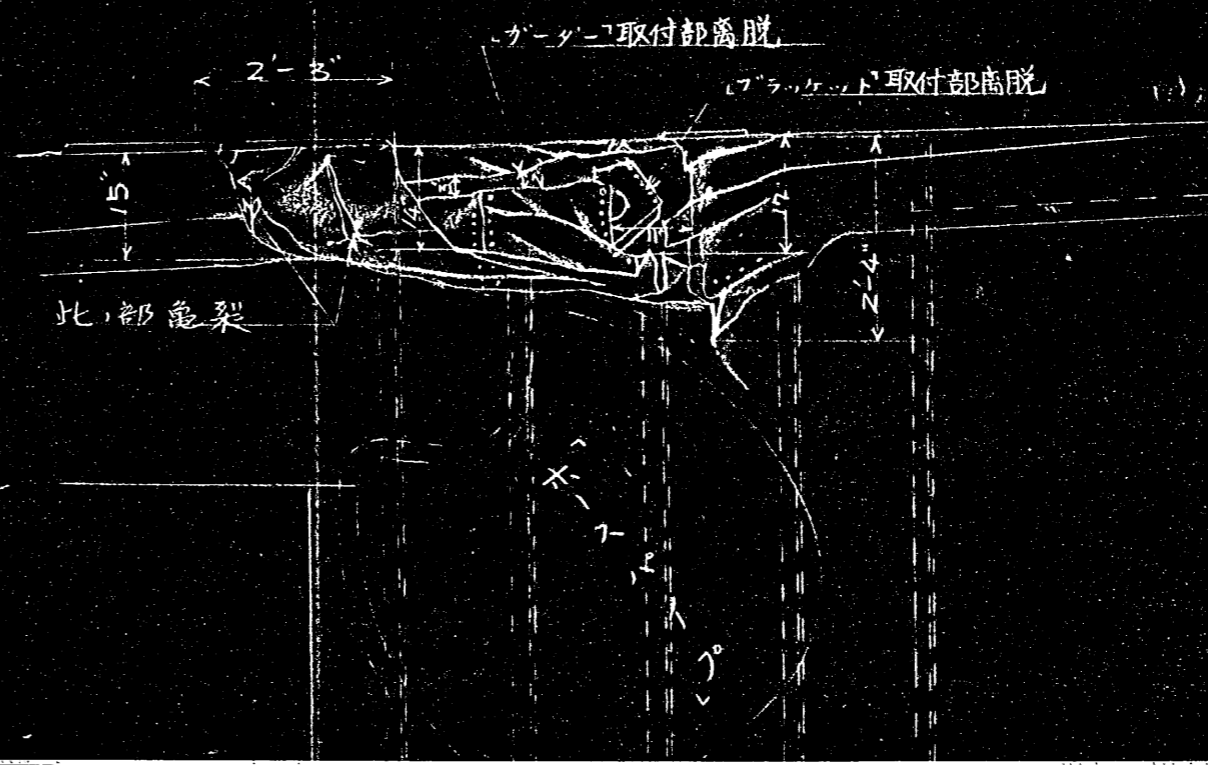
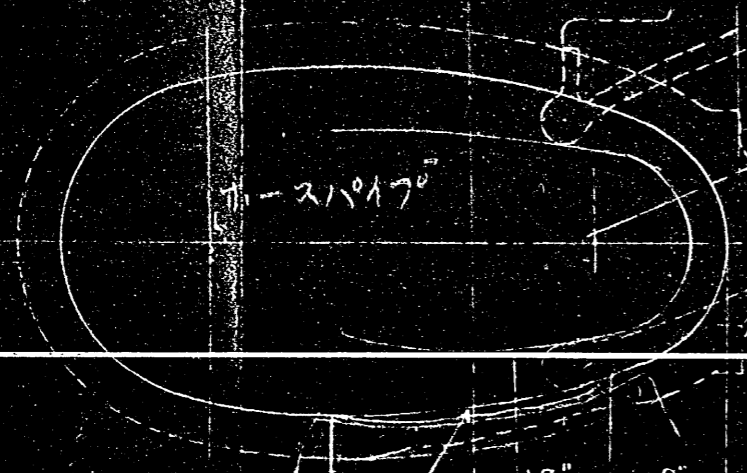
「カッター」取付部寫眞

「取付部」寫眞

外板側面

0645

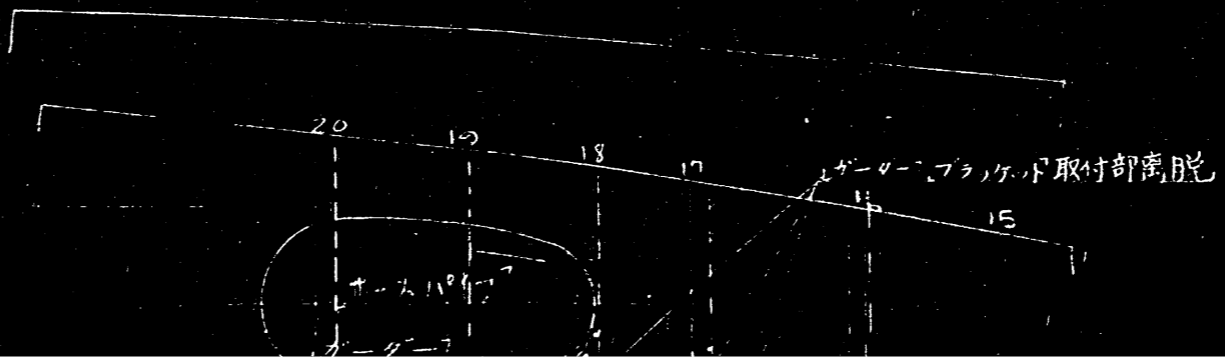
左端ホースパイプ損傷箇所
平面
尺度一寸一尺トス

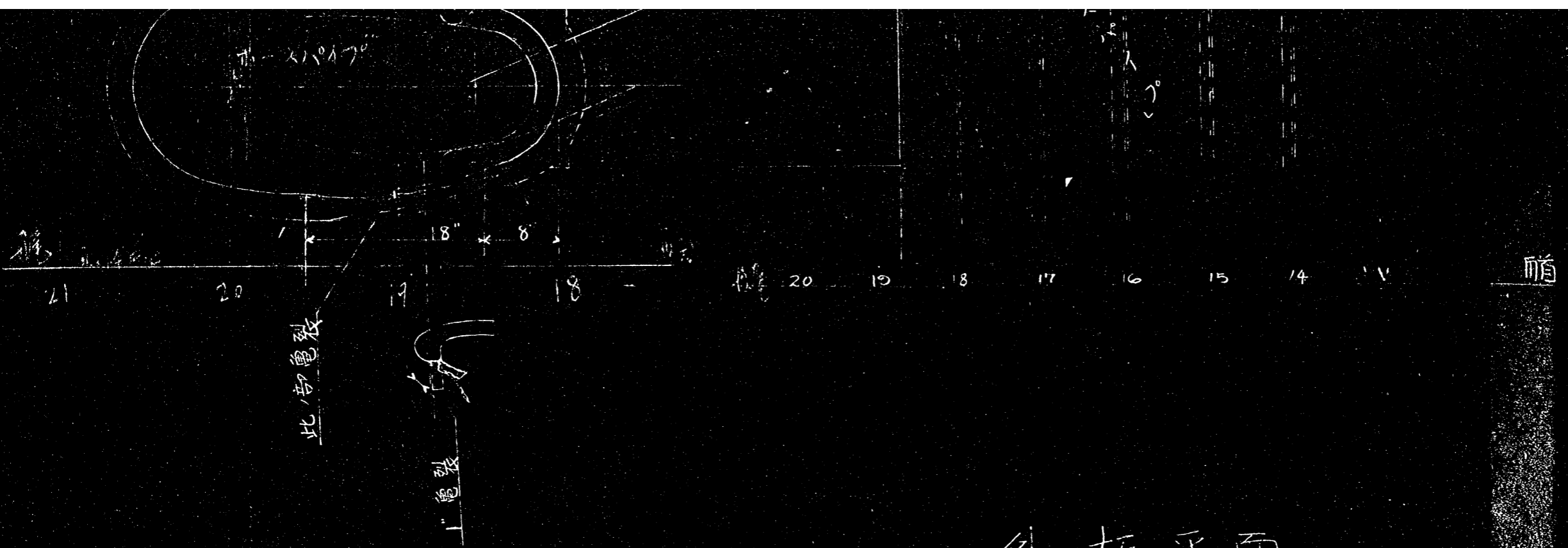


此部亀裂
亀裂

外板平面

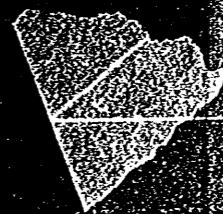
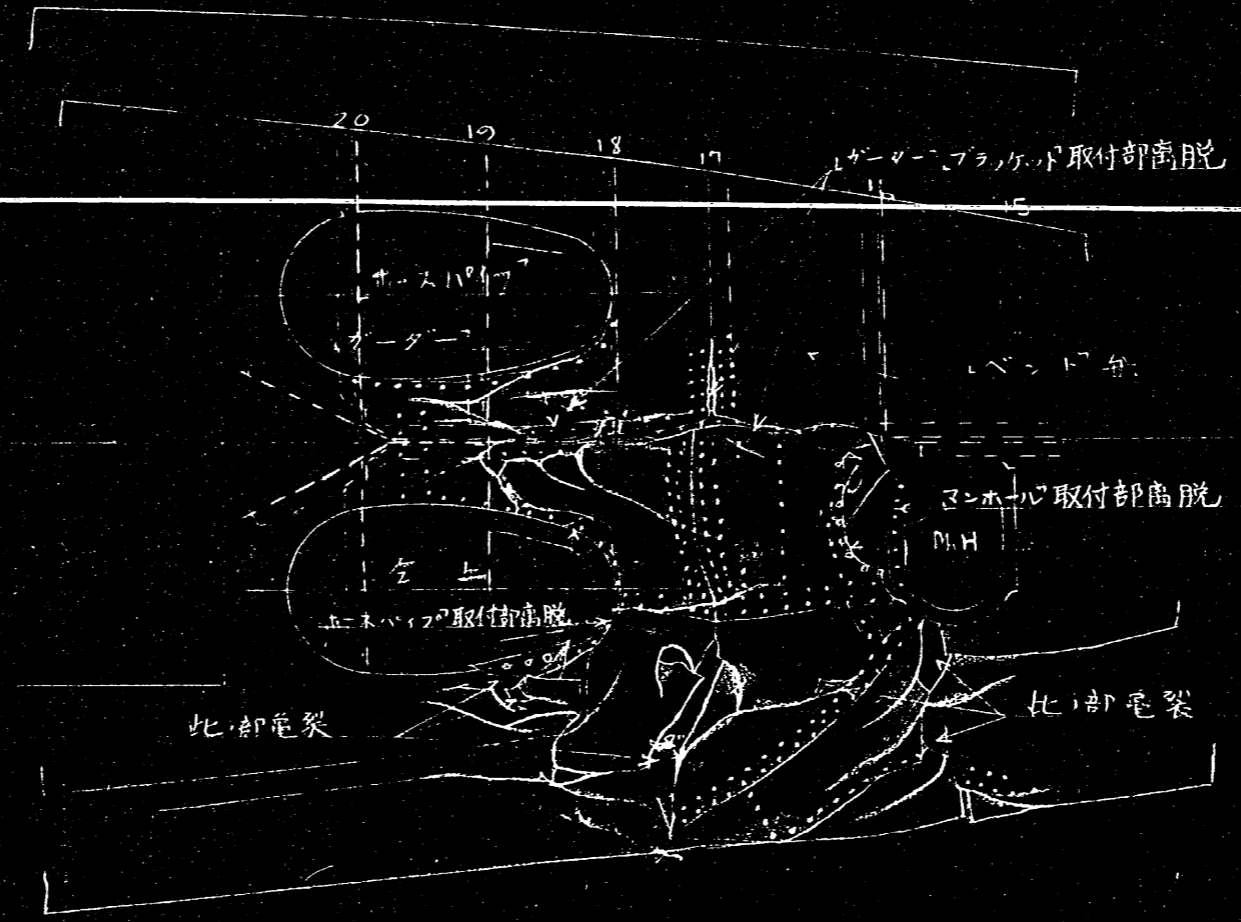
0647





外板平面

0647



29

関係工場

出	備	枚	数
船機	器具	監視	重機
工作			
		計	

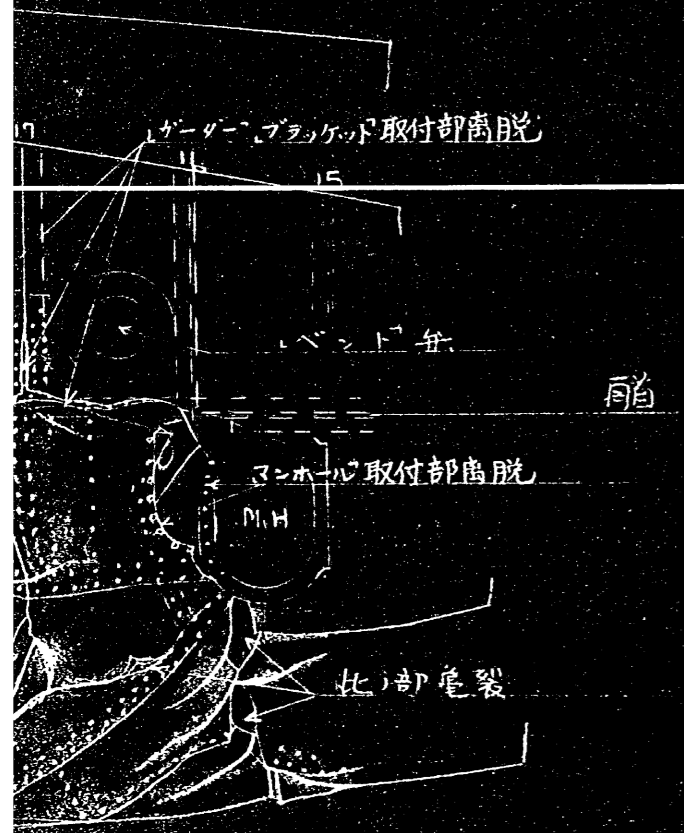
損傷状態

一右舷ホースパイプ附近肋板第十四番より二十番まで上甲板及外板肋板船体中心縦通材肘板等折損亀裂不
 一左舷ホースパイプ約二分の一程度船体中心移装左舷ホースパイプ
 周縁一部亀裂衣冠不
 一前部浮力タンクベント弁閉閉用月窓ガラス層曲ス

船首

0647

外板平面



船首

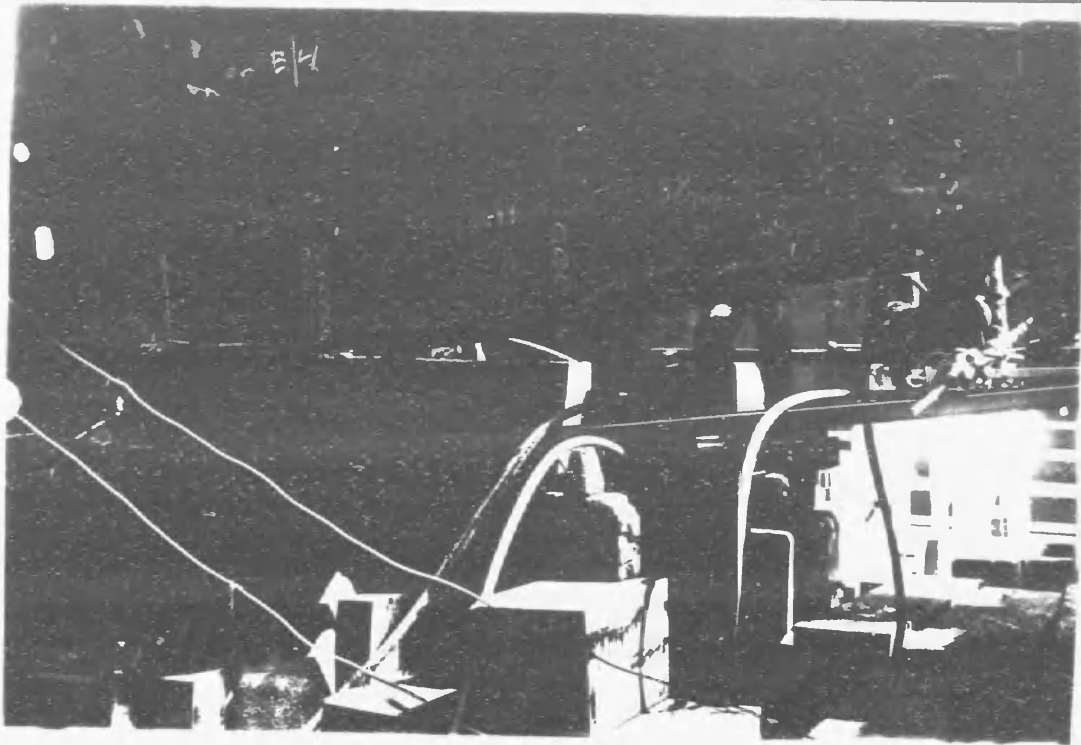
0649

0648

0650

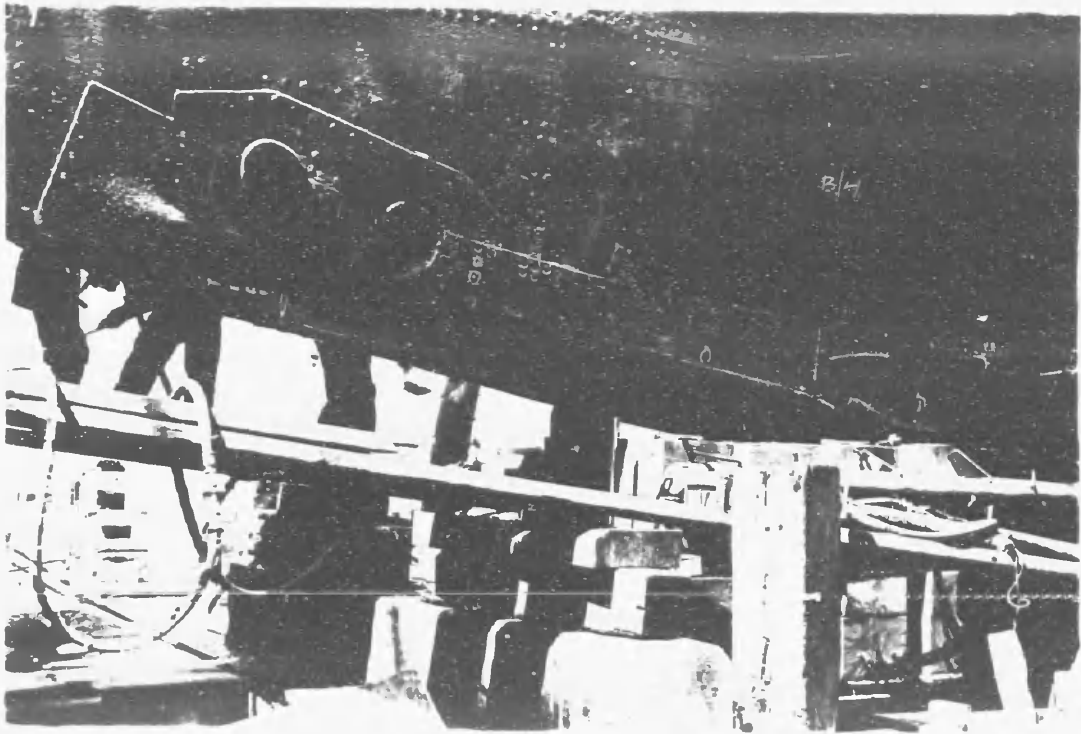
1990

右舷ヨリ見ルモル



損傷箇所写真

左舷ヨリ見ルモル



海軍